

BLACK BOTTOM BRASS BAND Guest 綾戸智恵

BLACK BOTTOM BRASS BAND (ブラック・ボトム・ブラス・バンド)

1993年／関西で結成。日本唯一のニューオリンズスタイルブラスバンドとして活動をスタートする。トランペット・トロンボーン・アルトサクソフーン・テナーサクソフーン・スーザフォン・スネアドラム・ベースドラムの7人編成。1996年／ポニーキャニオンよりメジャーデビュー。1997年／ニューオリンズにてライブ&レコーディングを行い、現地の新聞やラジオ等で大きく取り上げられる。以来、現在にいたるまで幾度となく訪れ、親交を深めている。1999年／活動拠点を東京へ。

全国各地でのライブツアー・イベント出演の他に、フジロック・ライジングサン・サマーソニック・サンセット・釜山国際ロック・ドラムブラスフェス・台中ジャズフェス etc ~ 様々な国内外のロック・ジャズフェスティバルに多数出演している。

また、JRA やユニクロのCM曲を担当するなど、TV・CM、映画に多数の楽曲提供を行ったり、綾戸智恵・甲本ヒロト・東京スカパラダイスオーケストラ・トータス松本・BEGIN・斉藤和義・RIP SLYME・m-flo・ハナレグミ・EGO-WRAPPIN'・MONGOL800・くるり・つるの剛士・八代亜紀 etc ~ 様々なアーティストとコラボレーションを行なう等、活動の幅を広げている。

現在までに、アルバムを23枚発売。今春、BBBB meet 綾戸智恵『ハイカラ八重奏』発売予定。音楽の楽しさをストレートに伝えるブラスワークショップや学校公演、アウトリーチは全国各地で大好評！ 2004年より(財)地域創造登録アーティストとしても活躍中。



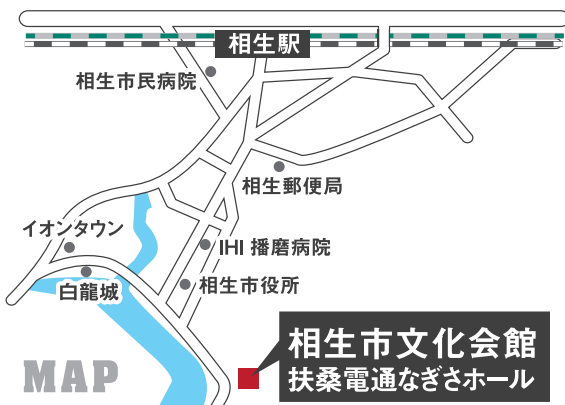
JAZZ SINGER 綾戸智恵 (Chie Ayado)



幼少時から両親の影響でジャズとハリウッド映画に囲まれて育つ。3才でクラシック・ピアノをはじめ、教会ではゴスペルを歌い、中学に入るとホテルのラウンジでピアノを弾くようになる。17才で単身渡米。1991年に帰国、その後は様々な職業をしながら大阪のジャズクラブで歌い始める。自主制作での数枚を経て1998年に全国発売されたアルバム『For All We Know』はジャズ・ファンだけでなく、多くの音楽ファンに衝撃を与えた。それは身長147センチ、体重40キロにも満たない当時40才の大阪出身の主婦・綾戸智恵の鮮烈なデビューであった。2001年、第51回芸術選奨文部科学大臣新人賞(大衆芸能部門)受賞。2003年、紅白歌合戦で熱唱した「テネシー・ワルツ」が大きな話題となり、これまでに売上げたCDの枚数は100万枚を超えている。

2014年に事務所・レコード会社から独立し、有限会社まいどを設立。自分のルーツをたどる旅からインスピレーションを得てアルバム『Picture in a Frame』を制作・発表。翌2015年に自らのルーツ”JAZZ”に正面から取り組んだアルバム『DO JAZZ』を、40年ぶりに訪れたアメリカ生活スタートの地、ロサンゼルスで録音・制作し、LIVE活動や講演会など様々な場所で勢力的に活動。笑わせたり、泣かせたりトークを交えながら、ジャズを中心にゴスペル、ソウル、ロック、ポップス、J-POPなど幅広いレパートリーを巧みにとり入れた綾戸智恵の個性的なステージは、多くのファンを魅了している。

2017年はデビュー20周年と還暦60歳をむかえ、“今の自分を素直に打ち出した”アルバム『DO JAZZ Gokko / ドゥ・ジャズ・ゴッコ』を発表し、東京国際フォーラム他での記念公演など、今まで以上に元気でパワフルな活動を続けている。



【JR 相生駅からのアクセス】

TAXI 相生駅からタクシー(約10分)

BUS 相生駅南口②バス乗り場
相生港行きもしくは万葉の岬行き

【相生港で下車】

バスの行き先表示番号

※50・52(約10分)

※55・56(約19分)

【注意事項】

※託児室有(無料・要予約)
予約期限 6月16日(日)

※車いす席には限りがございます。ご購入は
相生市文化会館窓口
(23-7118)のみとなります。